

子育て支援事業の最大手 JP ホールディングス（証券コード 2749）

**アスク大泉学園保育園でこどもたちの五感を養う「木育ワークショップ」を開催  
地域事業者と連携・木のぬくもりに触れ、豊かな感性や自然を大切にすることを育む**

子育て支援事業最大手 JP ホールディングスグループでは、「五感を養って感性を豊かにします」を保育方針の一つに掲げており、グループ企業の日本保育サービスが運営する「アスク」保育園では、木製玩具を中心とした保育環境の整備や、積み木・カプラ（木製ブロック）などを用いた活動の実践など、「木育\*」に取り組み五感を使った実体験を積み重ねています。

このたび、木育活動の一環として、アスク大泉学園保育園（東京都練馬区）にて「木育ワークショップ」を10月21日（木）に開催しました。

\*木育…木材や木製品とのふれあいを通じて、木や森への親しみを深め、森林の役割や木の良さ・利用意義等を学ぶこと。

（東京都産業労働局 2021年4月28日報道発表資料「『保育園等による木育活動の支援事業』の募集開始」より抜粋）

◆保育室を「木育」仕様に演出・非日常体験を提供◆

アスク大泉学園保育園で行われた木育ワークショップには、同園に通う0歳～5歳児の園児67名と、地域の子育て家庭4組が参加しました。当日は、「株式会社東京・森と市庭」の協力のもと、園内にヒノキのブロックやかんなくすプール、端材・葉っぱのコーナーを設け、発育に応じて、安全に木材と触れ合える環境を準備しました。



【写真左：大きな枝に興味津々 右：ヒノキのかんなくすプール】

会場に足を踏み入れたこどもたちは、「木のいいにおいがする！」「（ヒノキのかんなくすで作った）プールふわふわ！」と目を輝かせながら、木の香りや手触り、葉っぱをこすり合わせて鳴る音などに触れ、五感で木のぬくもりを体験しました。



【「手で触れる」「香りを嗅ぐ」など五感で木のぬくもりを体験（写真：アスク大泉学園保育園）】

また、幼児クラスを対象に行った丸太切り体験では、のこぎりを自らの手で持ち、直径 10 センチほどの丸太切りにチャレンジしました。こどもたちは、のこぎりの安全な使い方と切り方の注意を真剣に聞き、職員らのサポートを受けながら、緊張した面持ちで果敢に挑戦していました。



【のこぎりを使って丸太切りにチャレンジ！（写真：アスク大泉学園保育園）】

木育ワークショップに参加したこどもたちは、普段はなかなか味わえない非日常的な体験に、時間を忘れて夢中になっていました。

JP ホールディングスグループは、今後も地域社会と連携しながら、様々な保育プログラムを通じてこどもたちの豊かな感性を高め、思考力・創造力を育む保育・育成を実践してまいります。

#### ■株式会社 JP ホールディングスについて■

保育園・学童クラブ・児童館の運営を主軸に事業を展開している子育て支援の最大手企業（東証 1 部上場・証券コード 2749）です。運営施設数はグループ全体で 303 施設となります（2021 年 4 月 1 日現在）。傘下に全国で保育園・学童クラブ・児童館を運営する株式会社日本保育サービスと株式会社アメニティライフ、保育園向け給食の請負などを行う株式会社ジェイキッチン、子育て支援施設向け英語・体操・リトミック教室を請け負う株式会社ジェイキャスト、保育関連用品の企画・販売などを行う株式会社ジェイ・プランニング販売、保育や発達支援に関する研修・研究などを行う株式会社日本保育総合研究所があります。

詳細はこちら（<https://www.jp-holdings.co.jp/>）をご覧ください。

【報道各位からの問い合わせ先】  
株式会社 JP ホールディングス 東京本部  
広報 IR 部 都志・牛田・筒場  
TEL：03-6433-9515 FAX：03-6455-8032  
MAIL：jphd\_pr@jp-holdings.co.jp  
<https://www.jp-holdings.co.jp/>